

「特別の教科 道徳」学習指導略案

第3学年3組28名

指導者 奥園 健一

1. 主題名 「ふだんから大切なこと」 A-3 節度、節制
2. 資料名 「みつからないリコーダー」(出典:Gakken「みんなの道徳③」)
3. ねらい

自己中心的な気持ちから行動するのではなく、欲望を抑えて、自分のできることは自分でやることや、安全に気を付けて行動することのよさを考え、進んで節度ある生活を送ろうとする実践意欲を高める。

4. 展開

時間	学習活動(○発問、☆中心発問)と児童の反応(・)	◇指導上の留意点 ◆評価の視点
導入 5分	1.日常の生活習慣について振り返る。 ○朝、自分でスッキリ起きられていますか。 ○持ち物の準備や部屋の片付けはできていますか。	◇自分の普段の生活と重ね合わせ、関心を高める。
展開 35分	2.教材「見つからないリコーダー」を読み、あきらの様子を確認する。 3.あきらの行動について、母親の気持ちやアドバイスを話し合う。 ○お母さんはどのような気持ちだったのでしょうか。 ・毎日世話を焼かされて困っている。 ・もっと自分でしっかりやってほしいと思っている。 ☆あなたなら、あきらにどのようなアドバイスをしますか。 ・夜は早めに寝て、朝の支度は余裕をもってすること。 ・使ったものをきちんと片付け、前日に準備をすること。	◇夜更かし、朝寝坊、部屋の散らかり、忘れ物といったあきらの状況を共有する。 ◇小グループでの意見交流を取り入れ、多角的な視点に気づかせる。 ◆あきらの言動を手がかりに、生活の乱れがもたらす問題点や、母親の願い(家族への影響)について多面的に考えているか。 (発言・ワークシート・観察) ◆あきらの姿を自分に置き換え、自分中心の行動を反省し、規則正しい生活をしたいという願いや心情を高めているか。 (発言・ワークシート・観察)
	4.自分のこれまでの生活を振り返り、改善したいことを考える。 ・「自分の生活で困っていることや、直したいこと」をワークシートに書く。	◆生活習慣の乱れに気づき、自分の生活を見直そうとしている。 (発言・ワークシート・観察)
終末 5分	5. 教師の説話や児童の感想を聞き、これからの生活への意欲を高める。 ・「きまりを守り、自分のことは自分でする」ための個人のめあてを書く。	◇明日から実践できる具体的な行動(早寝、持ち物の前日準備など)を意識させる。